

# 広報 いんざい

1月1日号

No. 702  
平成 24 年(2012)

発行：印西市 編集：秘書広報課広報広聴班  
〒270-1396 印西市大森 2364-2 電話 0476 42 5111 (代) F A X 0476 42 7242  
ホームページ <http://www.city.inzai.chiba.jp/> Eメール [home@ml.city.inzai.chiba.jp](mailto:home@ml.city.inzai.chiba.jp)

## 主な内容

- ◆みなさんのご意見をお寄せください…2
- ◆平成 23 年分所得税確定申告書の無料相談会および自書説明会…3
- ◆本荘公民館ほか、各スポーツ施設で修繕工事…8
- ◆講演会「放射線と食べ物」を開催…9

## 「いんざい君」が市のマスコットキャラクターに

市マスコットキャラクター選考委員会を開催し、最優秀賞(採用作品)および優秀賞2作品、ユニーク賞を決定しました。



▲最優秀賞「いんざい君」  
小林あゆみさん (印西市)

「いんざい君」。体は市の花コスモと同じピンク色で、シッポにもコスモの花が咲いています。

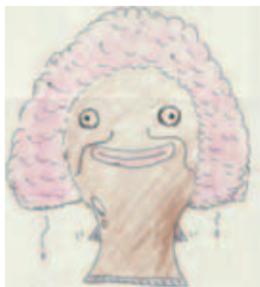
作者は、市内在住の小林あゆみさん。去る12月13日、表彰式が行われ、山崎山洋市長が受賞者に賞状と副賞を贈呈しました。

小林さんは「投票していただいたみなさんに感謝します。いんざい君には、広く愛されるキャラクターになって欲しいです」とコメント。

「いんざい君」の名称およびデザインは、現在特許庁に商標登録を出願中です。



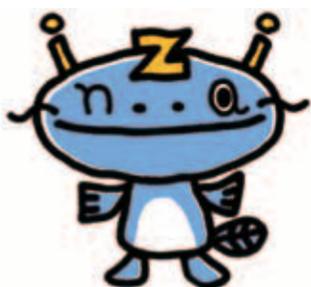
▲最優秀賞を受けた小林さん(中央左)と山崎市長(中央右)、そのほかの受賞者のみなさん(本人代理)



▲ユニーク賞「大なまづくん」  
中山俊さん (成田市)



▲優秀賞「いんざい門」  
石井朋子さん (成田市)



▲優秀賞「ぬまっち」  
清水修さん (船橋市)

## 小倉台小学校のホームページが千葉県最優秀校に



小学校ホームページを審査するコンテスト

「第9回全日本小学校ホームページ大賞」で、小倉台小学校が千葉県内755校の頂点に立つ、県最優秀校に選出されました。

いきいきとした児童の学校生活を伝える魅力的なホームページは、全国から選出された52校による全国大会選考に進んでいます。

## 新春のごあいさつ



印西市長 山崎山洋

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年3月に発生した東日本大震災は、いまだ国民生活や産業・経済に深いつめ跡を残しています。被災されたみなさまには、あらためてお見舞いを申し上げますとともに、義援金や救済物資のご提供をいただきまし



印西市議会議長 金丸和史

新年に当たりごあいさつを申し上げます。

市民のみなさまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから議会運営につきましましては、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、昨年は、誠に残念でしたが大災害の連続の年でありま

さて、本年は平成32年度までの新たなまちづくりの指針となる印西市総合計画のスタートの年です。当市の持つ潜在能力を開花させ、さらなる発展に向けて力強く羽ばたいていくための礎を築く、極めて重要な年となります。基本構想では、新たな将来都市像を「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」と掲げました。当市の豊かな自然環境と都市環境の調和の中で、市民一人ひとりが夢と希望を持つていきいきと活動し、ひとが輝き、まちが輝き、自然が輝き、子どもから高齢者まで、すべての市民の笑顔が輝く魅力あるまち「いんざい」をみなさまとともに築きたいと考えています。しかしながら現時点では、放

射線量低減対策、北総線運賃問題、クリーンセンターの次期中間処理施設、千葉ニュータウン事業の収束などの課題が山積しています。これらの課題に対しては、多くのみなさまの意見を伺いながら、適宜関係機関に働きかけを行うなど、当市の将来を見据えた所要の施策を講じ、乗り越えたいと考えています。そのためには、職員一丸となり、新たな将来都市像の実現に向け、「市民主体の安心・安全・活力と魅力あるまちづくり」に全力で取り組みますので、みなさまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。結びに本年がみなさまにとって、すばらしい年となりますことを心から祈念申し上げます。

した。3月11日の東日本大震災および津波は千年に一度といわれる程の大災害で被災された方はいうまでもなく、いまだその傷は癒えていません。それだけにとどまらず、各地で集中豪雨が頻発し、災害列島と化してしまつたかの様相でありました。印西市におきましても震災の影響は少なからずありました。自然災害を抑え込むことはできません。また、いつ、どこで起こるか予測もできませんが、一朝有事の際の危機管理能力を最大限発揮できる体制を、執行部と共に作り上げたいと考えています。

また、議会といたしましては、本年は議会改革の年と位置づけ、昨年、就任直後に設置いたしま

した「議会改革推進特別委員会」において議論を重ね、「市民の負託に心えられる議会」を目指し、議会改革を推進いたします。

なお、2月の定例会からネット配信による本会議中継を開始します。

今後も市民のみなさまの意見に傾聴し、市民福祉の向上と印西市のさらなる発展を念頭に置いて、判断していかねければならないと考えています。

合併して間もなく2年が経過します。本年は市民相互の交流をさらに進め、一体感のあるまちづくりに向け尽力してまいりますので、市議会へのこれまでと変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。